

平成 21 年 10 月 2 日

大臣官房 政策課

最近の気象状況について

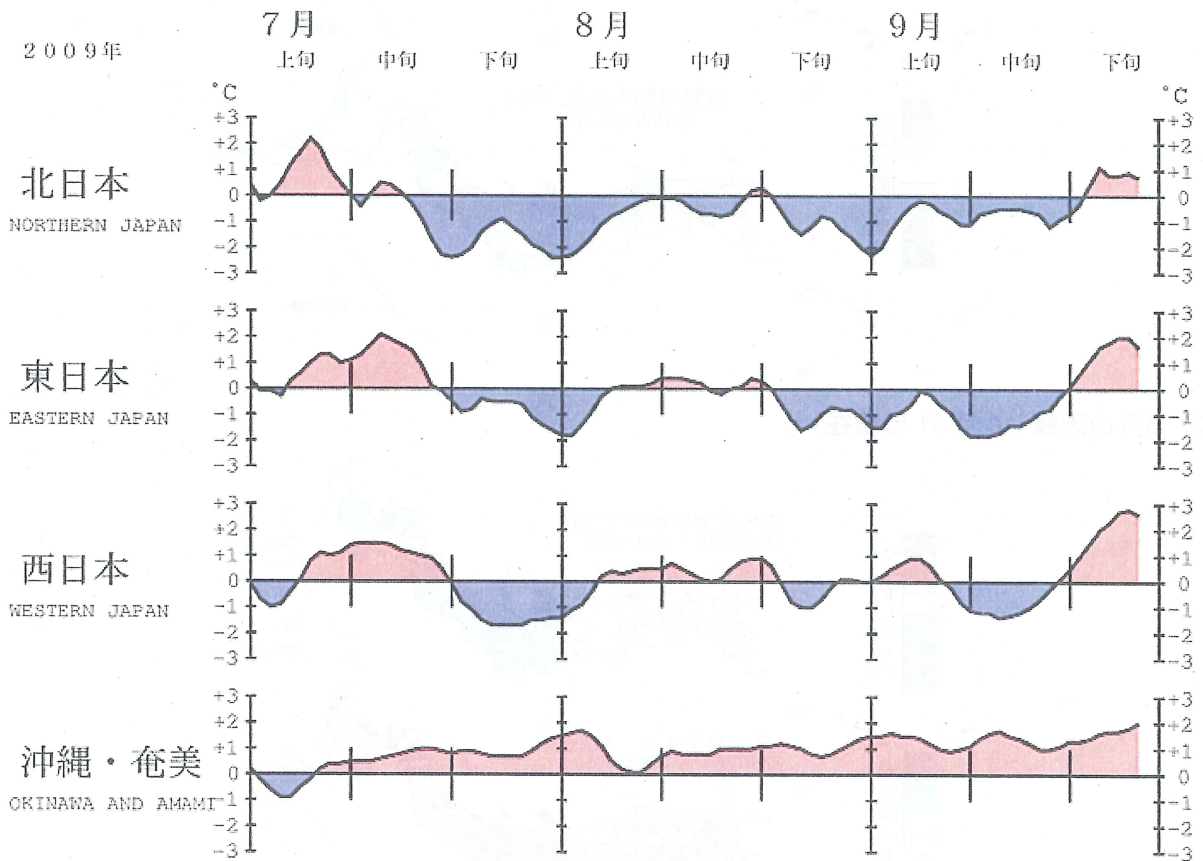
- | | | |
|---|--------------------------------|------|
| 1 | 8月以降の天候経過について | P 1 |
| 2 | 今後の天候見通し | |
| ① | 全般1か月予報（9月19日から10月18日までの天候見通し） | P 3 |
| ② | 全般3か月予報（10月から12月までの天候見通し） | P 7 |
| ③ | 全般 寒暖期予報（10月から2月までの天候見通し） | P 11 |

8月以降の天候経過について

特徴

8月: 低温(北日本、東日本)、高温(沖縄・奄美)、小雨(北日本日本海側、西日本日本海側、沖縄・奄美)、日照時間少ない(北日本、東日本、西日本日本海側)、日照時間多い(沖縄・奄美)

9月: 低温(北日本、東日本)、高温(西日本太平洋側)、少雨(全国的)、日照時間多い(北日本太平洋側、東日本、西日本、沖縄・奄美)



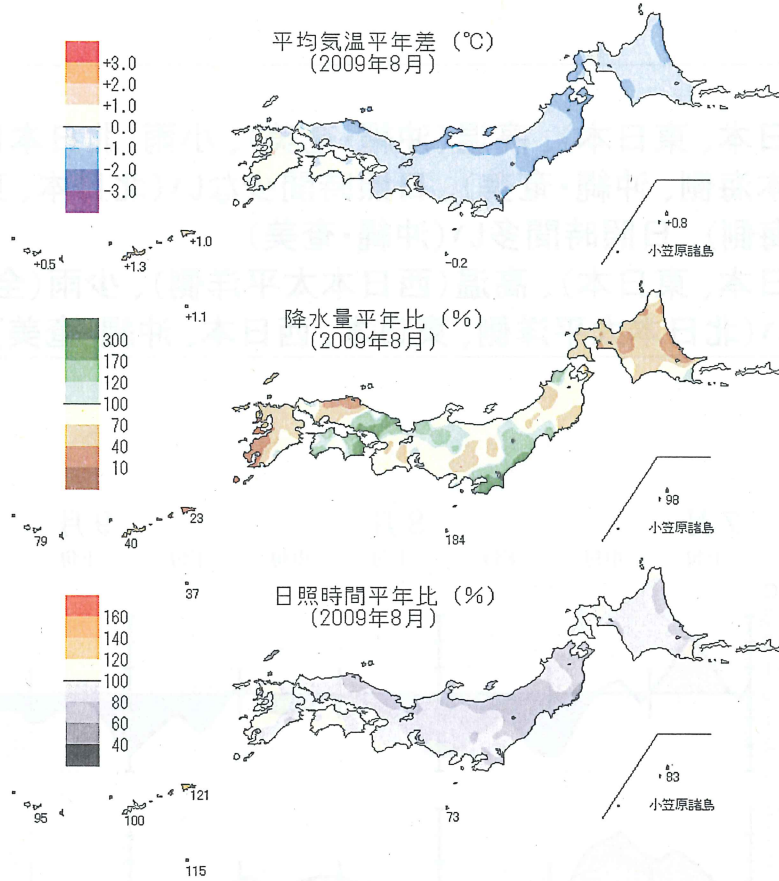
TIME SERIES OF 5-DAY RUNNING MEAN TEMPERATURE ANOMALY FOR SUBDIVISIONS

地域平均気温平年差の5日移動平均時系列

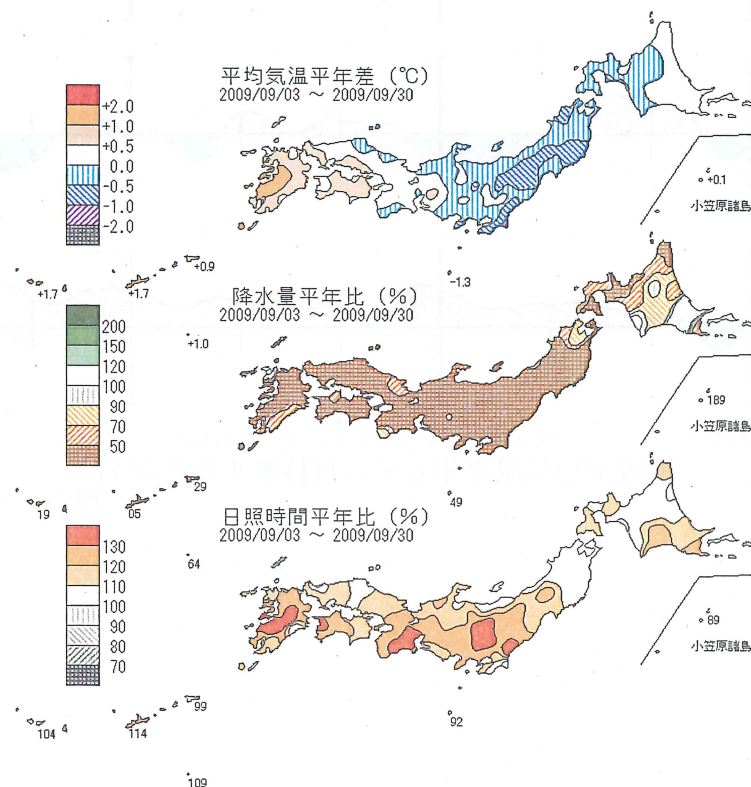
更新日: 2009年10月1日

各月の平均気温、降水量、日照時間の平年差

(1) 8月の天候



(2) 9月の天候(10月01日現在)



全般 1か月予報

(9月26日から10月25日までの天候見通し)

平成21年9月25日
気象庁 地球環境・海洋部発表

<特に注意を要する事項>

全国的に降水量の少ない状態が続いており、この状態が直ちに解消する可能性は小さい見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。天気は、北日本から西日本にかけては数日の周期で変わるでしょう。沖縄・奄美では平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は沖縄・奄美で高い確率70%、東日本と西日本で高い確率50%、北日本で平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、沖縄・奄美で平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、沖縄・奄美で平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は沖縄・奄美で高い確率80%、東日本と西日本で高い確率70%、北日本で高い確率50%です。2週目は沖縄・奄美で高い確率60%、東日本と西日本で高い確率50%、北日本で平年並または高い確率ともに40%です。3～4週目は、沖縄・奄美で高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

[気温]

北日本	20	40	40
東日本	20	30	50
西日本	20	30	50
沖縄・奄美	10	20	70

[日照時間]

北日本日本海側	30	40	30
北日本太平洋側	30	40	30
東日本日本海側	30	40	30
東日本太平洋側	30	40	30
西日本日本海側	30	40	30
西日本太平洋側	30	40	30
沖縄・奄美	40	40	20

[降水量]

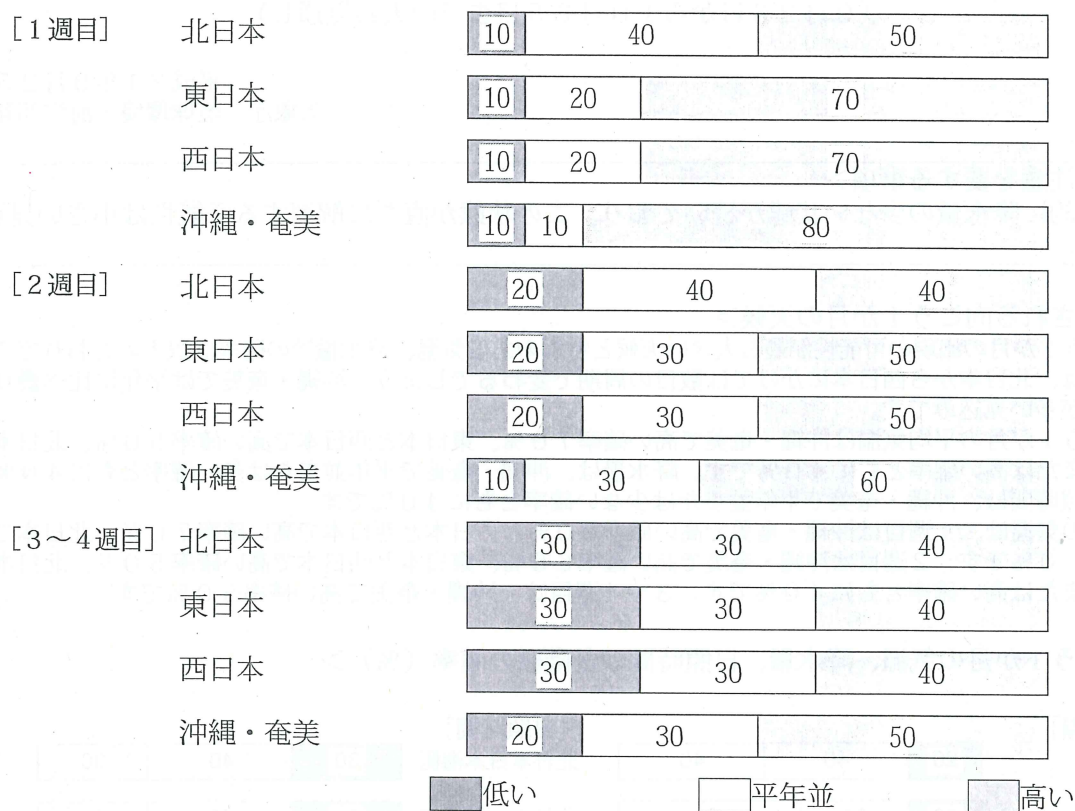
北日本日本海側	30	40	30
北日本太平洋側	30	40	30
東日本日本海側	30	40	30
東日本太平洋側	30	40	30
西日本日本海側	30	40	30
西日本太平洋側	30	40	30
沖縄・奄美	20	40	40

■低い(少ない)

□平年並

■高い(多い)

<気温経過の各階級の確率（％）>



<予報の対象期間>

1か月 : 9月26日(土)～10月25日(日)
 1週目 : 9月26日(土)～10月2日(金)
 2週目 : 10月3日(土)～10月9日(金)
 3～4週目 : 10月10日(土)～10月23日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は10月2日
 3か月予報：10月22日(木) 14時

<参考資料（平年並の範囲）>

(1) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)		降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
北日本	-0.4～+0.3	日本海側	91～109	94～106
		太平洋側	78～107	95～105
東日本	-0.5～+0.1	日本海側	79～115	94～106
		太平洋側	75～111	92～106
西日本	-0.3～+0.3	日本海側	71～121	95～105
		太平洋側	75～103	94～107
沖縄・奄美	-0.3～+0.2		63～108	94～105

(2) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
北日本	-0.5～+0.5	-0.5～+0.5	-0.5～+0.3
東日本	-0.5～+0.4	-0.6～+0.4	-0.5～+0.3
西日本	-0.4～+0.4	-0.6～+0.4	-0.4～+0.4
沖縄・奄美	-0.2～+0.3	-0.2～+0.3	-0.4～+0.2

<参考資料（利用上の注意）>

(1) 気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

季節予報

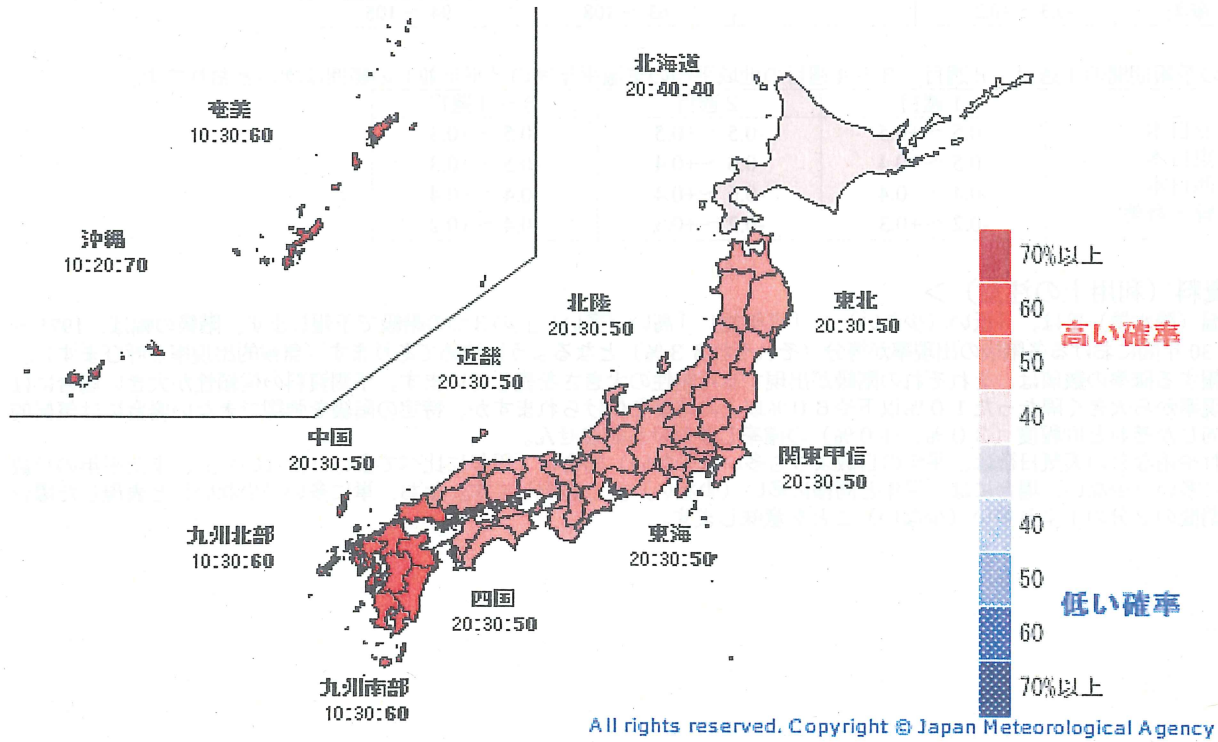
[全般予報の解説資料\(PDF形式:約300KB\)](#)

平均気温

9月26日～10月25日

「高い」または「低い」確率が40%以上の地域

地域名の下の数値は、左から、低い: 平年並: 高いの各確率(%)



全般 3か月予報

(10月から12月までの天候見通し)

平成21年9月24日
気象庁 地球環境・海洋部発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
この期間の平均気温は、沖縄・奄美で高い確率60%、西日本と東日本で高い確率50%、北日本で平年並または高い確率ともに40%です。

10月 天気は、北日本から西日本にかけては数日の周期で変わるでしょう。沖縄・奄美では平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。気温は、沖縄・奄美で高い確率60%、西日本で高い確率50%、東日本と北日本で平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、沖縄・奄美で平年並または多い確率ともに40%です。

11月 天気は数日の周期で変わるでしょう。北日本日本海側では、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。気温は、東日本と西日本、沖縄・奄美で高い確率50%、北日本で平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、北・東日本日本海側で平年並または少ない確率ともに40%です。

12月 天気は、太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。北・東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多い見込みです。西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。気温は、西日本と沖縄・奄美で高い確率50%、東日本で平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

<<気温>>

[北日本]				[西日本]			
3か月	20	40	40	3か月	20	30	50
10月	20	40	40	10月	20	30	50
11月	20	40	40	11月	20	30	50
12月	30	30	40	12月	20	30	50
[東日本]				[沖縄・奄美]			
3か月	20	30	50	3か月	10	30	60
10月	20	40	40	10月	10	30	60
11月	20	30	50	11月	20	30	50
12月	20	40	40	12月	20	30	50

低い
 平年並
 高い

<<降水量>>

[北日本日本海側]

3か月	40	30	30
-----	----	----	----

10月	30	40	30
11月	40	40	20
12月	40	30	30

[北日本太平洋側]

3か月	40	30	30
-----	----	----	----

10月	30	40	30
11月	30	40	30
12月	40	30	30

[東日本日本海側]

3か月	40	30	30
-----	----	----	----

10月	30	40	30
11月	40	40	20
12月	40	30	30

[東日本太平洋側]

3か月	30	40	30
-----	----	----	----

10月	30	30	40
11月	30	40	30
12月	30	40	30

[西日本日本海側]

3か月	30	40	30
-----	----	----	----

10月	30	30	40
11月	30	40	30
12月	30	40	30

[西日本太平洋側]

3か月	30	40	30
-----	----	----	----

10月	30	30	40
11月	30	40	30
12月	30	40	30

[沖縄・奄美]

3か月	30	30	40
-----	----	----	----

10月	20	40	40
11月	30	40	30
12月	30	40	30

■ 少ない

□ 平年並

□ 多い

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は9月25日

3か月予報：10月22日(木) 14時

10月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

<参考資料（平年並の範囲）>

(1) 1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)		降水量平年比(%)
北日本	-0.4～+0.4	日本海側	94～106
		太平洋側	83～108
東日本	-0.4～+0.4	日本海側	93～103
		太平洋側	84～98
西日本	-0.4～+0.4	日本海側	87～117
		太平洋側	84～112
沖縄・奄美	-0.2～+0.2		83～107

(2) この予報期間の地域平均気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	10月	11月	12月
北日本	-0.5～+0.4	-0.4～+0.6	-0.2～+0.4
東日本	-0.5～+0.3	-0.4～+0.6	-0.5～+0.5
西日本	-0.4～+0.4	-0.4～+0.7	-0.1～+0.6
沖縄・奄美	-0.4～+0.2	-0.5～+0.5	-0.3～+0.3

(3) この予報期間の地域平均降水量平年比の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	10月	11月	12月
北日本日本海側	99～111	94～108	96～107
北日本太平洋側	78～110	69～112	80～100
東日本日本海側	91～109	84～112	82～109
東日本太平洋側	73～109	62～113	75～120
西日本日本海側	74～126	85～111	82～119
西日本太平洋側	77～104	72～116	74～132
沖縄・奄美	66～108	78～119	69～113

<参考資料（利用上の注意）>

(1) 気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

(2) 予報する確率の数值は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い（少ない）ことを意味します。

季節予報

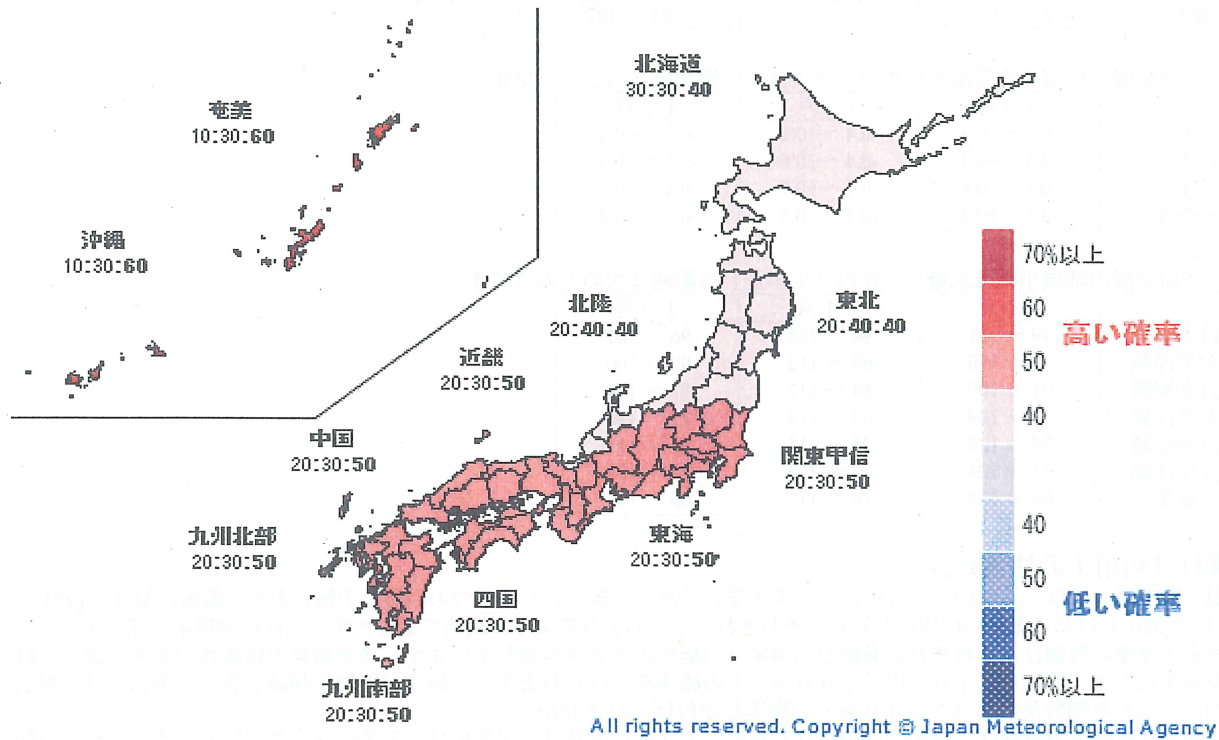
[全般予報の解説資料\(PDF形式:約300KB\)](#)

平均気温

10月～12月

「高い」または「低い」確率が40%以上の地域

地域名の下の数値は、左から、低い: 平年並: 高いの各確率(%)



全般 寒候期予報

(10月から2月までの天候見通し)

平成21年9月24日
気象庁 地球環境・海洋部発表

<予想される冬(12月から2月)の天候>

冬(12~2月)の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

北日本日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、北日本太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東日本日本海側は平年に比べ曇りや雪または雨の日が少なく、西日本日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東・西日本太平洋側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多く、沖縄・奄美では平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

この期間の平均気温は、東・西日本で高い確率50%、沖縄・奄美では高い確率60%です。降水量は、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で平年並または多い確率ともに40%です。日本海側の降雪量は、北日本で平年並または少ない確率ともに40%、東・西日本で少ない確率50%です。

なお、12月までの各月の予報については、最新の3か月予報等をご覧ください。

<冬(12月から2月)の気温、降水量、降雪量の各階級の確率(%)>

[気温]				[降雪量]			
北日本	30	30	40	北日本日本海側	40	40	20
東日本	20	30	50	東日本日本海側	50	30	20
西日本	10	40	50	西日本日本海側	50	30	20
沖縄・奄美	10	30	60				
[降水量]							
北日本日本海側	30	40	30				
北日本太平洋側	30	40	30				
東日本日本海側	40	30	30				
東日本太平洋側	20	40	40				
西日本日本海側	30	30	40				
西日本太平洋側	20	40	40				
沖縄・奄美	20	40	40				

低い(少ない)
 平年並
 高い(多い)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は9月25日

3か月予報：10月22日(木) 14時

寒候期予報については、10月22日発表の3か月予報に合わせて予報内容を再検討し、変更がある場合には修正発表します。また、11月25日発表の3か月予報以降、冬の予報については、最新の3か月予報等をご利用ください。

<参考資料（平年並の範囲）>

（１）1971～2000年のデータに基づいた12～2月地域平均の気温、降水量、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)		降水量平年比(%)	降雪量平年比(%)
北日本	-0.2～+0.3	日本海側	94～106	95～102
		太平洋側	81～112	
東日本	-0.3～+0.4	日本海側	95～104	72～111
		太平洋側	71～115	
西日本	-0.3～+0.6	日本海側	87～109	56～111
		太平洋側	74～116	
沖縄・奄美	-0.1～+0.3		83～114	

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。